



2020.7.9



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部： <https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>

==== 目次 =====

1 ■ AJALT の教材 新刊のご案内 ■

「おぼえてたのしい 生活漢字かるた」

2 ■ お役立ち情報 ■

オンライン日本語学習サイト紹介 2

=====

1 ■ AJALT の教材 新刊のご案内 ■

この春、AJALT の教材に「おぼえてたのしい 生活漢字かるた」が加わりました。かるた形式で、楽しみながら必要な漢字語彙が身につきます。地域社会で暮らす外国人が、標識やサインの意味を正しく理解し、街中で戸惑うことなく、安全に施設を利用できるようになることを願って作成しました。今は各地でようやく自粛が解かれたところですが、家での自習教材、オンライン上でのフラッシュカード教材としても、ご活用いただけます。

.....

「おぼえてたのしい 生活漢字かるた」

◆街や施設でみる 103 語

外国語の世界に身を置いて、街の標識やサインの意味がわからず困ったという経験を、私たち日本人の多くが持っていると思います。来日後、日本で生活をはじめた外国人も同様です。「おぼえてたのしい 生活漢字かるた」は、そうした問題の解消を目指して、難民や生活者への長年にわたる日本語指導の積み重ねの中で考案されました。授業実践に基づいて、主に5つのジャンルから103語を厳選しています。

基本的なことば（住所、生年月日等）、銀行・郵便局関連（お引出し、速達等）、病院関連（内科、保険証等）、標識・標語（火気厳禁・止まれ等）、また、街で見かける語（押す・営業中等）などです。

◆この漢字かるた教材の特長

箱のふたを開けると、三種類の札が並んでいます。かるたと言えば普通、絵札と読み札のペアを思い浮かべますが、これに文字札が加わったことが、本教材の特長です。文字札には、見出し語が大きな文字サイズで掲載され、漢字がはっきりと印象に残ります。絵札は、色彩豊かなイラストで、語の意味やそれが使われる状況を伝えています。イラストは、教室で生活日本語指導に当たる教師が、どうすれば外国人学習者にわかりやすくなるか、仲間の教師と検討を重ねて、一枚一枚、丹念に描いたものです。読み札には例文が、ルビ付きで初級学習者にとっても易しい日本語で書かれ、必要に応じて補足情報もあります。例えば、「小児科」には「12歳以下の子どもが 行きます。」「印」には「印かんは ハンコとも 言います。」などの情報が書き添えられています。

◆三種類の札の効果的な組み合わせ

学習者のニーズや目的に合わせて、ジャンルや語を取捨選択し、次のように、三種類の札を自在に組み合わせ、学習の効果をあげることができます。

【絵札&読み札】絵の中の生活漢字と読み札の文を結びつけて、意味が理解

できる。

【漢字札&読み札】絵の助けなしで、漢字だけを見て理解する力がつく。

【絵札&読み札&漢字札】生活漢字の意味と読み方の両方がわかるようになる。

【絵札&漢字札】神経衰弱などのゲームを楽しみながら学習効果を上げる。

【漢字札のみ】漢字の読みに特化した学習ができる。

生活の中で使われることばや標識は、例えばごみ関連の表示のように、地域による表現の違いもあります。地域情報も補って活用することで、支援の幅が広がります。

※編集部より

★AJALT 教材「おぼえてたのしい 生活漢字かるた」については下記 URL をご参照ください。

<https://www.ajalt.org/textbook/#06>

<https://www.ajalt.org/file/karuta.pdf>
